



躍進する若き巨匠が南欧の名門と魅せる壮麗な響き!

千葉県誕生150周年記念

山田和樹 指揮 & 藤田真央 ピアノ

# MONTECARLO フィルハーモニー管弦楽団



指揮  
山田和樹

©Marco Borggreve



ピアノ  
藤田真央

©Dovile Sermokas

ベートーヴェン  
序曲「コリオラン」 Op.62

ベートーヴェン  
ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 Op.37

ベルリオーズ  
幻想交響曲 Op.14

※演奏曲目は変更になる場合がございます。



©Sasha Gusov

令和 5/26 (日) 14:00開演 千葉県南総文化ホール・大ホール  
6年 (13:00開場) 千葉県館山市北条740-1 TEL.0470-22-1811

全席指定 S席12,000円 A席10,000円 B席8,000円(各券税込み)  
※ U-30(30歳以下)各券半額、小中高生は500円(B席のみ)

### プレイガイド

千葉県南総文化ホール 0470-22-1811  
千葉県東総文化会館 0479-64-2001  
青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511  
房日新聞社 0470-25-5552  
宮沢書店 0470-23-7771  
イープラス <https://eplus.jp/>

### 託児サービスがご利用いただけます 有料・要予約

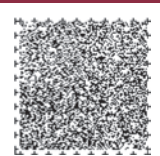
託児料 0歳・1歳 ----- 3,000円  
2歳以上 ----- 2,000円  
※定員になり次第、締め切らせていただきます。

【お申込み・お問い合わせ】  
イベント託児・マザーズ 0120-788-222

### ネット予約・購入



### Uni-Voice



主催



公益財団法人  
千葉県文化振興財団

後援

千葉県  
館山市、木更津市、勝浦市、鴨川市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、南房総市、鋸南町 各教育委員会



# 監督就任8年目の山田和樹に聞く

## —— モンテカルロ・フィルとの出会い

2011年の出会いはとても特別なものでした。当時の音楽監督クライツベルクさんが逝去され、その代役として客演。演奏会は大成功しすぐに良い関係が始まりました。クライツベルクさんの後に音楽監督に就任されたのがジャンルイジ・ジェルメッティさんだったのですが、これもまた運命的でした。というのも、自分でチケットを買って初めて行った演奏会が、ジェルメッティさんが指揮する日本フィルだったのです。彼の推薦によって首席客演指揮者となり、2016年から芸術監督となり、現在に至っています。指揮者から指揮者への「禅譲」は珍しいケースで、大変に感謝しています。

## —— モンテカルロ・フィルの魅力

一言でいうと、「今どき珍しい」サウンドを出すのが大きな特徴です。音が合っていたり立派だったりするだけでなく、そこに香りや温度や色のようなものが常に同時に存在しているような、そんな音楽づくりをずっと目指してきました。みんなが一斉に集中して、いわゆる「ゾーン」に入った時には、心から「世界一のオーケストラだ!」と思える凄さがあります。監督に就任して8年目になりますが、事前に打ち合わせしていなくても目配せ一つでその場の演奏を変えることが出来るまでになりました。

## —— メインで取り上げる曲の聴きどころ

「幻想交響曲」は、(優勝した)ブザンソンコンクールでの本選で指揮した曲で、程なく客演したバリ管弦楽団とも演奏しました。最近では、ボストン交響楽団でのデビューでも取り上げていて、いわゆる「勝負曲」です。一言でいうと「狂気」に溢れた作品ですね。

## —— ソリスト藤田真央の魅力

真央君は一種の天才です。確かに地球上に存在していながら、どこか違う星から来たのではないかという超人間性を音楽の中に感じることができます。屈託のない透き通った直向きの彼の心に触れているだけで、周りの人は幸せになることができます。



©Zuzanna Specjal

### 山田和樹(指揮) モンテカルロ・フィル芸術監督兼音楽監督

Kazuki Yamada, Conductor Artistic & Musical Director of Monte-Carlo Philharmonic Orchestra

2009年第51回ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。ほどなくBBC響を指揮してヨーロッパデビュー。同年、バリ管を指揮して以来、チェコ・フィル、ドレスデン国立歌劇場管、フィルハーモニア管、スイス・ロマン管等と共演し、破竹の勢いで活躍の場を広げている。2023年にはボストン響とのタンブルウッド音楽祭にデビュー。2016/17シーズンからモンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督、2023年4月からバーミンガム市交響楽団の首席指揮者兼アーティスティックアドバイザーに就任。

東京藝術大学で松尾葉子・小林研一郎の両氏に師事。

2022年にはモナコ公国からシュバリエ文化功労勲章を受章した。



©Dovile Sermokas

### 藤田真央(ピアノ)

Mao Fujita, Piano

2017年第27回クララ・ハスケル国際ピアノ・コンクール優勝。

2019年チャイコフスキー国際コンクール第2位。ルツェルン音楽祭、ヴェルビエ音楽祭ほか主要な音楽祭へ定期的に出演。

2023年1月カーネギーホールにてホール主催のソロリサイタルデビュー。同年5月、音楽監督リッカルド・シャイー率いるミラノ・スカラ座フィルハーモニー管とのヨーロッパツアーを成功させ、同年7月にはウィグモア・ホールにて5日間に渡るモーツァルト・ピアノ・ソナタ全曲ツクルスを開催。2021年11月ソニークラシカル・インターナショナルと専属レコーディングのマルチアルバム契約を締結し、2022年10月(モーツァルト・ピアノ・ソナタ全曲集)をリリース。



©Sasha Gusov

### モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団

Monte-Carlo Philharmonic Orchestra

モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団は、1856年に「新外国人管弦楽団」としてオーケストラが結成され、1958年には「モンテカルロ国立オペラ管弦楽団」と改称。1980年に「モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団」が正式な名称となり、それ以来、音楽界で国際的にも重要な地位を占めている。その伝統と現代性を融合させる力により、重要な交響曲作品や現代音楽作品の演奏、オペラやダンス音楽においても主導的な役割を果たしている。

モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団の歴史は、ヴィクトール・デ・サバタ、ルイ・フレモー、イーゴリ・マルケヴィチ、ロヴロ・フォン・マタチッチ、ジャンルイジ・ジェルメッティ、マレク・ヤノフスキ、ヤコヴ・クライツベルク、そして2016年から現在まで音楽監督を務める、山田和樹といった偉大な指揮者や音楽監督によって彩られてきた。

2010年秋、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団は「OPMCクラシックス」レーベルを立ち上げた。このレーベルのもとで多くの作品が録音され、音楽専門誌から数々の賞を受賞している。

モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団の総裁はハノーファー皇太子妃が務めており、モナコ大公アルベール2世の支援と激励を受けている。またモナコ公国政府および、ソシエテ・デ・バンド・メール、フィルハーモニック・オーケストラ連盟友の会のサポートを受けている。